

「里づくり通信」2025 年 10 月号



■9月3日（水）に令和7年度（2025年度）道北ブロック別会議を開催しました。

9月3日（水）に上川総合振興局で令和7年度（2025年度）道北ブロック別会議を開催しました。

石黒 康太郎指導員さんから『当麻を自慢する～官民連携での地域づくりの実践～』をテーマに講演を受けました。

当麻町における「全部ある当麻町プロジェクト」、三育（食・木・花）の取り組みが始まった経緯、自らが家族や友人を巻き込みながら PDCA（「Plan（計画）」、「Do（実行）」、「Check（評価）」、「Action（改善）」）を繰り返して作り上げた「木育ツーリズム」について、お話をいただきました。

また、当麻町の魅力（付加価値）をどのように発信してきたか、その過程での苦労や課題解決に向けて行った官民連携についても紹介いただき、とても参考になるお話でした。



■10月29日（水）～30日（木）にふる水現地研修（道央）を開催しました。

10月29日（水）～30日（木）の2日間にわたり浦河町でふる水現地研修を開催しました。

29日は、浦河町役場において、合同会社 クッシー・プランニング 代表である「稲岡 千春」さんから『馬産地浦河町 インドからの移住者を支える』をテーマに講演を受けました。

講演では、馬産地浦河町における就労者不足解消に重要な役割を担うインド人労働者とその家族への生活支援、地域住民との繋がりの取り組みについてお話をいただきました。

具体的には、母子支援、インド野菜の栽培や共同購入、住民と外国人を繋ぐ「お隣さんプロジェクト」などの地域活動を紹介いただき、大変示唆に富む内容でした。

続いて、浦河町役場産業課夏いちご振興係長の「池田 裕喜」さんから『浦河町の「夏いちご」の軌跡と取組について』をテーマに講演を受けました。

講演では、何故、浦河町で夏いちごの新規就農支援を始めたのか、その背景や、新たな品種開発、新規就農支援事業に取り込む中の苦労など、町や農協などが連携して地域の活性化を目指す取組が紹介されました。

また、2日目の現地研修として実施した「いちご高設栽培ハウス」の視察と合わせ、2日間を通してとても参考になる内容となりました。



最後に4つのグループに分かれて、講演についての振り返りや地域の取り組みについて意見交換を行いました。



■ ■ ■ お知らせ ■ ■ ■

今後の研修予定について、お知らせします。

地域づくり研修会	2月中～下旬、札幌で開催予定
幹事会	2月中～下旬、札幌で開催予定
指導員会	2月中～下旬、札幌で開催予定

「里づくり通信」では、皆様からの記事の提供を随時お待ちしております！

「指導員同士でこんな情報を共有したい」、「活動について知ってもらいたい」など情報発信に御利用ください！

また、Web セミナーや Zoom ミーティングなどの呼びかけも可能です。

関心の高いテーマに絞った実施が可能ですので、何かありましたらお気軽にメール・FAX・電話等で御連絡ください。

連絡先(担当:田牧)

メール:tamaki.tomohisa@pref.hokkaido.lg.jp

FAX:011-232-0027

電 話:(代表)011-231-4111(内線)27-877